

熊本県気候変動適応センター通信 第2号

今回のテーマ：気候変動対策の取組みについて

気候変動への対策は、大きく分けて2つあります。一つ目は、気候変動の原因を少なくする取組みで、「**緩和策**」と言われます。地球温暖化の防止に向けて、省エネルギーや化石燃料から電気等へのエネルギーシフトに取り組むことなどが挙げられます。

二つ目は、気候変動の影響に備える、うまく対応する取組みで、「**適応策**」と言われます。具体的には、猛暑日が増える中、熱中症にならないよう空調をうまく利用したり、こまめに水分補給を行うことなどが挙げられます。昔から行われていた「打ち水」なども、暑さにうまく対応するための適応策と言えます。自分に身近な適応策から実践しましょう。



出典：「A-PLAT」（気候変動適応情報プラットフォーム）

個人でできる適応策の例

日常生活で

- 空調を利用して熱中症にならないようにする
- 住宅で快適に過ごせる工夫をする（緑を増やす、風通しを良くする、断熱窓など）
- 種まきや植えつけの時期をずらしてみる



災害への備え

- 防災グッズを準備し、避難所を確認する
- 被害の出やすい場所を確認し、あらかじめ対応しておく
- 地域の防災訓練に参加する



学校や職場でできる適応策の例

学校で

- 学校行事（運動会など）の時期を変える
- 衣替えの時期を変える



職場で

- クールビズ・ウォームビズで服装を調整する。
- 始業時間を早くする・遅くする



熊本県気候変動適応センター

事務局：熊本県環境生活部環境局環境立県推進課 TEL:096-333-2266 FAX:096-383-0314
E-mail: kankyourikken@pref.kumamoto.lg.jp